

○探求テーマ

「スペインにおける自動車市場の探求」

○実務訓練期間

2014 年 9 月 1 日～2015 年 2 月 7 日

○実務訓練先

スペイン（バルセロナ）：カタルーニャ工科大学

○概要

近年、日本の自動車企業の海外進出が進んでいる。スペイン、バルセロナには日産自動車の工場が建設され、現在稼働している。また、ヨーロッパでは自動車産業が進んでおりドイツの Volkswagen のシェアは世界でもトップレベルである。スペインはヨーロッパに位置しているため自動車産業の盛んなヨーロッパ諸国から自動車の輸出入を行いやすい。そこでバルセロナではどこの企業の自動車が多く利用されているのかを調査した。さらにバルセロナにおける自動車利用や日本の自動車企業進出の実態を調査した。

1. バルセロナ

1.1 バルセロナの概要

バルセロナはスペインの北東部に位置し、面積 101.4km²、人口約 160 万人のカタルーニャ州の州都である。言語は主にカタルーニャ語とスペイン語が併用されている。気候は温暖で、町には美しい建築物が多く見られ、世界的にも有名な観光都市として多くの観光客が訪れる。

1.2 バルセロナの工業地帯

バルセロナには地中海に面した港があり漁船や貨物船の出入りが盛んである。バルセロナの中心地から 30 分ほど離れた港の近くに位置する Francia Port と呼ばれる地域には自動車の工場やそれに隣接した販売店が多く存在する工業地帯となっている。スペインの自動車企業である Seat や日本の日産などの工場が存在する。



図 1. Francia Port にある Seat および日産の工場

2. 実際に市内を走行している自動車のシェア調査

2.1 調査内容

バルセロナにおける自動車企業のシェアについて調査した。実際にバルセロナ市内を走行する自動車を調査対象とした。これら調査対象車はスペインで登録していることを示す E と記されたナンバープレートを持つ自動車のみである。これはスペインでは他のヨーロッパ諸国の自動車が走行していることがあり、これらが混ざること防ぐためである。調査はディアゴナル通りと呼ばれる大通りを走行する自動車 1000 台について行った。1000 台の自動車を企業ごとに振り分け、それぞれの台数を測定した。ここで得られた結果とインターネットを用いて調べたスペインにおける実際の自動車登録台数を比較した。この調査によってスペインにおける自動車企業の需要を測った。



図 1. 左：調査場所であるディアゴナル通り，右：調査対象者のナンバープレート

2.2 調査結果

この調査によって得られた結果と 2013 年および 2014 年のスペインにおける自動車登録台数を比較した結果を以下のグラフに示す。赤で示される棒グラフが実際の調査結果である。傾向としてヨーロッパ車の利用が多かった。特にスペインと近隣国であるドイツやフランスの自動車が多く利用されていることがわかった。その中でも世界的に人気の高い Volkswagen が最も多かったが、スペイン自国の企業である Seat も同様に高いシェアを誇っていた。ヨーロッパ以外の企業ではアメリカの Ford、日本のトヨタや日産の割合が高かった。Ford はアメリカでも 2 位のシェアを誇り、トヨタのシェアは世界でもトップであることからスペインでの人気も納得できる。日産はフランスの Renault と提携していることもあり、近年ヨーロッパでの知名度が上がってきているのではないかと考えた。韓国の Hyundai や Kia は乗用車登録台数では上位にいるが、実際の調査ではあまり見られなかった。

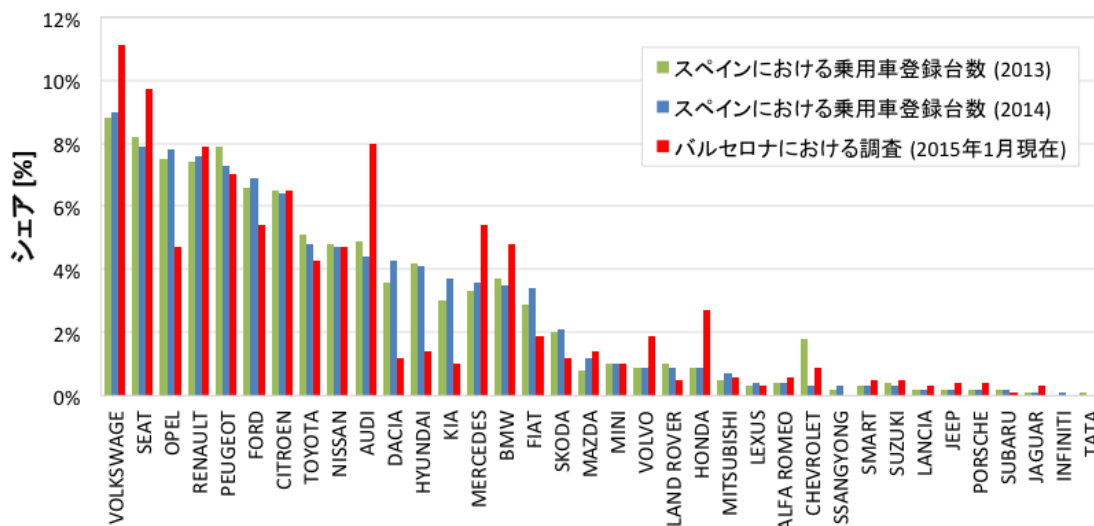


図1. スペインにおける自動車登録台数とバルセロナにおける調査結果の比較

2.3 自動車の価格による比較

自動車を購入する上で最も重要な要素とも言える価格による比較を行った。日本のトヨタ、日産、ドイツの Volkswagen, Audi, フランスの Renault, アメリカの Ford, スペインの Seat の6つの異なった自動車企業のスペイン及び日本で販売されている価格による比較を行った。それぞれの価格を示した表を以下に示す。結果として、日本の自動車は日本での価格の方がスペインでの価格に比べ60万円以上安い。逆にヨーロッパの自動車はスペインでは約50万円安く購入することができる。日本の自動車は性能が高く評価され、コストパフォーマンスが良いことも人気の理由だと考える。バルセロナを走るタクシーにもトヨタの Prius が多く利用されていることから人気も伺える。Ford は輸入車にもかかわらず安価であり購入しやすいためシェアでも上位にいるのだと考えた。

表1. スペインと日本での価格の比較

自動車企業名	車種	スペインにおける値段 [ユーロ]	日本円換算 (1ユーロ=140円)	日本における値段 [円]
トヨタ(日本)	Prius	22,350	3,129,000	2,232,000
日産(日本)	Note	14,500	2,030,000	1,399,680
Volkswagen(ドイツ)	Polo	13,130	1,838,200	2,284,000
Audi(ドイツ)	A7	60,620	8,486,800	9,140,000
Renault(フランス)	Lutecia (Clio)	11,300	1,582,000	2,055,000
Ford(アメリカ)	Fiesta	8,690	1,216,600	2,360,000
Seat(スペイン)	Ibiza	8,900	1,246,000	

3. バルセロナにおける自動車利用および日本の自動車企業進出の実態

バルセロナ市内では自動車の広告がよく見られた。中でも日本のトヨタや日産，韓国の Hyundai といったアジアの自動車の広告が多く見られた。アジアの自動車企業のスペインへの積極的な進出が感じられた。



図 1. バルセロナでみられたアジアの自動車の広告（左：日産，中：トヨタ，右：Hyundai）

また，トヨタや日産の販売店も街で見つけることができた。トヨタの販売店のスペースはとても広く，レクサスの販売店も隣接されていた。

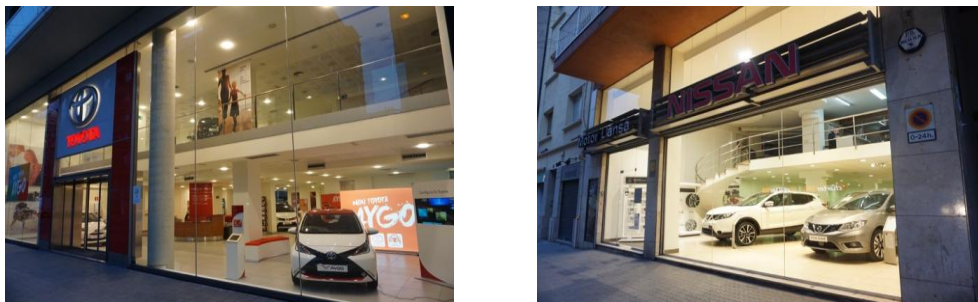


図 1. 日本企業の自動車販売店（左：トヨタ，右：日産）

バルセロナでは路上に自動車を駐車するスペースが多く設けられ，毎日そのほとんどが埋まっていた。バルセロナはバスや地下鉄，路面電車といった公共交通機関が進んでいるにもかかわらず，バルセロナでの移動手段として自動車が多く使われていることがわかった。また，自動車に加えバイクの利用率も高いと感じた。大学の通学にバイクを利用する学生は多かった。

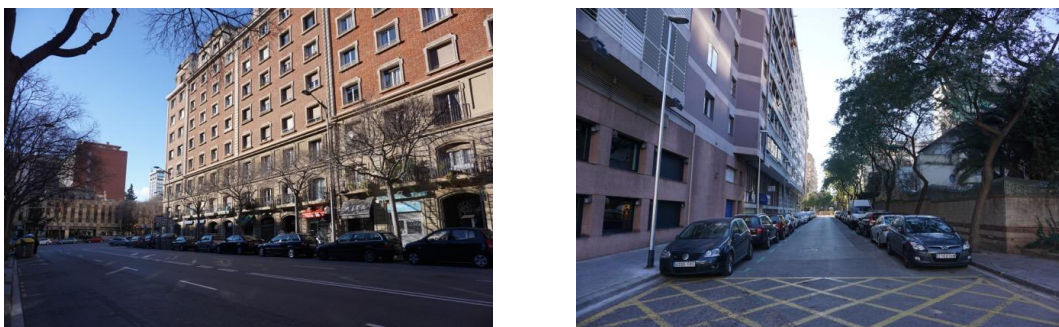


図 1. 路上に駐車されている自動車

他に気づいた点として、市内を走行している自動車は日本と異なり汚れているものが多かった。また、マニュアル車を利用している人が多かった。これらの事から自動車デザインよりも運転の楽しさを求め、機能性を重視して購入する人が多いのではないかと推測した。

4. 所感

バルセロナでは想像以上に日本車をよく見かけ、日本の自動車企業の進出の浸透性を感じた。日本の自動車が遠く離れたスペインでも多く利用されていることはとても嬉しく感じる。ヨーロッパの自動車産業は進んでおり、輸出入のしやすさからもヨーロッパではほとんどのシェアを占める。今回の調査ではスペインでは人気のある日本の自動車企業はトヨタや日産であることがわかったが、他の企業も積極的に進出し活躍していくことを願う。

○参考文献

マークラインズ 自動車産業ポータル

http://www.marklines.com/ja/statistics/flash_sales/salesfig_spain_2014